



報道機関各位

熊本大学

学術講演会  
「いのちの水と生きる～熊本から世界へ～」  
開催について

熊本大学は、日本学術会議九州・沖縄地区会議とともに、学術講演会「いのちの水と生きる～熊本から世界へ～」を開催いたします。

水は生命の源であり、水害を起こすこともあります。熊本は「轟水源」「白川水源」「菊池水源」「池山水源」といった名水を有する「水の国」でもあります。

今回、広く一般の方々を対象とし、熊本大学で推進している「資源としての水」「水害を引き起こす水」の二つの面からそれぞれの研究成果をご報告させていただきます。さらに熊本大学が熊本の水研究を世界に広めるために行っている取り組みをご紹介します。パネルディスカッションでは、これからの「水」とうまくつきあっていくためにはどうしていけばいいかをテーマに、マスコミ、行政関係の方々もパネリストとしてお迎えし、会場の皆様と一緒に考えていきます。

広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

## 記

【日時】平成26年11月3日（月・文化の日）14：00～17：00

【場所】ANAクラウンプラザ ホテルニュースカイ  
（熊本市中央区東阿弥陀寺町2番地）

【対象】一般市民の方々

【参加費】無料

【申込方法】下記申込先に、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。

熊本大学マーケティング推進部研究推進ユニット

TEL：096-342-3307・3146（直通）

FAX：096-342-3149

E-mail：kenkyu-seminar@jimu.kumamoto-u.ac.jp

[申込締切]平成26年10月31日（金）必着

※詳しくは別紙チラシをご覧ください。

## 【お問い合わせ先】

熊本大学マーケティング推進部

研究推進ユニット

担当：城、黒木

TEL：096-342-3307・3146（直通）

平成26年度 日本学術会議 九州・沖縄地区会議

学術講演会

# いのちの水と生きる

## ～熊本から世界へ～

水は生命の源であり、水害を起こす事もあり、熊本の根幹でもあります。学術講演会では、「資源としての水」「水害を引き起こす水」の二つの面からそれぞれ研究結果を報告し、さらに熊本大学が熊本の水研究を世界に広めるために行っている取り組みを紹介し、パネルディスカッションでは、これから「水」と上手に生きるために、どういう取り組みを行えば良いかを話し合います。

日時 平成26年**11月3日** (月曜日・文化の日)  
14:00～17:00

会場 **ANAクラウンプラザ  
ホテル熊本ニュースカイ**  
〒860-8575 熊本市中心区東阿弥陀寺町2番地  
TEL:096-354-2111

### 学術講演会

#### 14:00 開会挨拶

大西 隆 (日本学術会議会長)

谷口 功 (熊本大学学長)

#### 14:10 講演

① 大本 照憲 (熊本大学大学院自然科学研究科 教授)

② 嶋田 純 (熊本大学大学院自然科学研究科 教授)

「アジアモンスーン地域における持続的地下水管理のあり方  
－熊本大学における研究と教育の両面での活動－」

#### 15:30 パネルディスカッション

〈議題〉「いのちの水と生きるために」

〈コーディネーター〉 谷口 功 (熊本大学学長)

〈パネリスト〉 大本 照憲 (熊本大学大学院自然科学研究科 教授)

嶋田 純 (熊本大学大学院自然科学研究科 教授)

高峰 武 (熊本日日新聞社 常務取締役)

古賀 俊行 (国土交通省 九州地方整備局 河川部長)

### お問い合わせ先

熊本大学 マーケティング推進部 研究推進ユニット

〒860-8555 熊本市中心区黒髪2丁目39-1

TEL 096-342-3307・3146 FAX 096-342-3149

入場無料

●事前予約制●  
(どなたでもご参加できます)



◆主催  
日本学術会議九州・沖縄地区会議

◆共催  
国立大学法人熊本大学

◆後援  
熊本県・熊本市・熊本日日新聞社  
財団法人日本学術協力財団

### 参加申込方法

#### ①FAXによる参加申込み

チラシ裏面の「学術講演会参加申込書」に必要事項をご記入の上、次のFAX番号にお送りください。

FAX 096-342-3149

#### ②電子メールによる参加申込み

メール件名を「学術講演会参加申込み」とし、メール本文に参加者の「氏名」、「所属(法人・企業名等)」、「連絡先(電話番号)」をご記入の上、次の電子メールアドレスにお送りください。

E-mail  
kenkyu-seminar@jimu.kumamoto-u.ac.jp